

▼リプレガル点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 アガルシダーゼアルファ Agalsidase alfa 【分類】 ファブリー病治療薬 [α-ガラクトシダーゼ酵素製剤]

【単位】 ▼3.5mg/V

【常用量】 0.2mg/kg を隔週点滴静注

【用法】 生食 100mL に希釈し、0.2μm のインラインフィルターを通し、40分以上かけて点滴静注する（希釈後は激しく振とうしない）。Infusion reaction が発現した場合の次回投与時には、抗ヒスタミン剤やステロイド剤の前処置を考慮。

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 ヒト線維肉腫培養細胞から生産されたα-ガラクトシダーゼ A。ファブリー病の原因物質であるセラミドトリヘキソシド (ceramide trihexoside) を加水分解する酵素活性 (CTH の末端にα-グリコシド結合したガラクトース残基を切り離す) を有する。α-ガラクトシダーゼ A の活性が先天的に欠損あるいは低下しているファブリー病患者に対して酵素補充療法として適用される。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー様症状、発熱、悪寒・倦怠感、四肢疼痛、熱感、CK(CPK)上昇、呼吸困難、嘔気、頭痛など

【F】

【tmax】

【代謝】 M6P レセプターを介して組織（主に肝臓）に取り込まれてライソゾームに移行し、その後緩やかに加水分解を受け、ペプチド及びアミノ酸へ分解されると推定 (1) CYP 酵素は関与しないと思われる (1)

【排泄】 尿中回収率 61.6～78.8% [iv, 24hr まで] (1)

【t1/2】 1～2hr (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 約 102000

【透析性】 資料なし (1) 分子量が大きく、透析されないとと思われる (5)

【O/W 係数】 資料なし (1)

【主な臨床報告】 プラセボと比較して GFR の低下度が軽度となった (West M, et al: J Am Soc Nephrol 20: 1132-9, 2009 PMID: 19357250)

【備考】 希釈には生食以外を使用しない。

【更新日】 20161210

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。